

SWRの計算による測り方及グラフによる測り方。

本機は送信電力の測り方の所で説明したように進行波電力Pfと反射波電力Prが測れますので下記の計算式によってSWRを算出する事が出来ます。

$$\text{計算式} \quad \text{SWR} = \frac{\sqrt{P_f} + \sqrt{P_r}}{\sqrt{P_f} - \sqrt{P_r}} \quad \begin{array}{l} P_f. \text{進行波電力} \\ P_r. \text{反射波電力} \end{array}$$

$$\text{又は、} \quad \text{RP} = \frac{P_r(W)}{P_f(W)}$$

$$\text{電圧定在波比} \quad \text{V.S.W.R} = \frac{1 + \sqrt{\text{RP}}}{1 - \sqrt{\text{RP}}}$$

又計算がめんどうな場合は次のSWR換算表（グラフ）でも求められます。

仕 様

周波数範囲	1.8~60MHz
測定電力	0~3000W MAX.
SWR測定範囲	1:1~∞
最小SWR測定電力	3W
電力測定確度	0~1000W FS.±10% 1000W以上±15%
残留SWR	1:1.2以下
挿入損失	0.3dB以下
入出力インピーダンス	50Ω
コネクタ	M型
寸法	W200×H85×D120mm
重量	約1.5kg

※性能改善等の為、予告なしに回路及び定数等を変更する事があります。



注 意

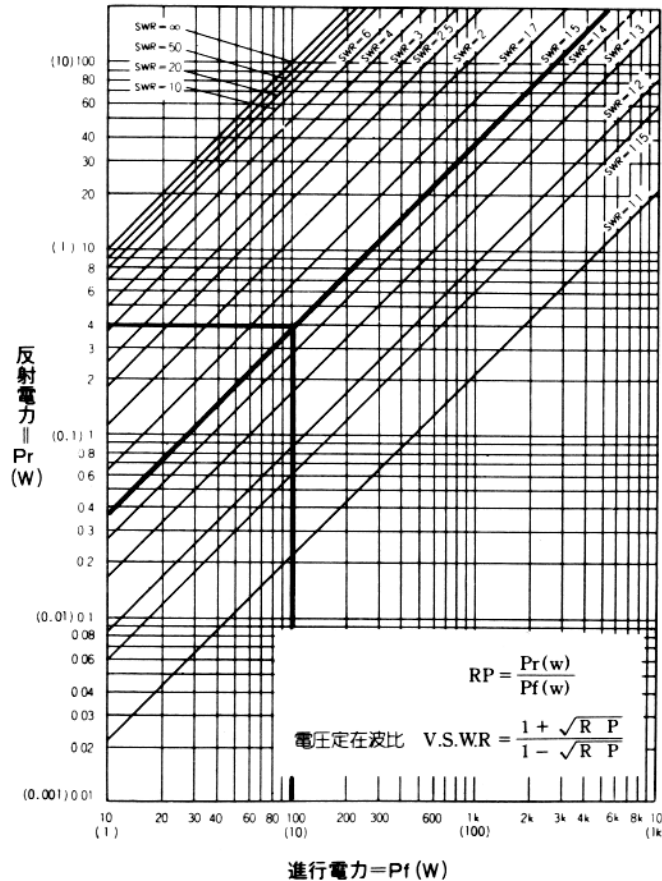
本機は無線局運用のための周辺補助機器です
(一般民生機器ではありません!!)

電波法で定める無線従事者等の技術者がその資格の範囲により責任をもって使用する機器です。運用上及び使用上の安全には充分注意の上御使用下さい。

SWR換算表(グラフ)の見方

- 横軸が進行波電力です。(太線では100W) Pf
 - たて軸が反射波電力です。(太線では4W) Pr
- この2点からのびた線の交点を通る斜線がその時のSWRです。SWR=1.5です。
このグラフは対数グラフを用いてSWRが直線で表示される様になっていますので、見やすいのです。横軸を1とした時はたて軸の目盛も1とすれば同じです。カッコの数字は1/10目盛です。

S.W.R.換算表



取扱説明書

SWR/通過形電力計

RW-3003L

保証書

No. _____

型名 Model. **RW-3003L**
 販売年月日 年 月 日
 お名前 様
 ご住所

〒 ☎

販売店名印

※販売年月日・販売店印なき物は無効!!

株式会社 クラニシ

本 社 東京都目黒区中目黒1-10-24共栄ビル
 PHONE 03(3793)3311 〒153
 サービス課 PHONE 03(3711)9510

